
入間市学校食物 アレルギー対応 マニュアル 【2訂】

令和3年12月

入間市教育委員会

はじめに

社会や生活様式がいかに大きく変化しても、子供たちの健やかな成長には、調和の取れた食事、十分な休養・睡眠、適切な運動が不可欠なことに変わりはありません。

近年、成長期の子供にとって最も大切な「基本的生活習慣」の乱れが深刻な問題となっており、その中心とも言える食生活、とりわけ『学校給食』の役割が一層増していることは言うまでもありません。

入間市では、子供たちの健やかな成長を願い、基本となる『食事・睡眠・運動』を大切にしており、特に、『学校給食』に関しては、「子供達の体は食べた物で作られており、何を、いつ、どれだけ、どのように食べるかによって変わってくる」と考え、重要視しております。加えて、「大人になっても入間市に住み続けたいと思える理由」に挙げてもらえるなど、学校給食は本市のシティセールスの一つにもなっております。

さて、『安心・安全でおいしい給食』を実施する上での大きな課題となっている「食物アレルギー対応」につきましては、平成19年の文部科学省の「アレルギー疾患に関する調査研究報告書」を受けて、平成20年に日本学校保健会により「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」が作成され、平成24年の食物アレルギーを起因とした事故を契機に、平成25年に「学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの作成」が県から依頼されました。

これらを受けて本市では同年7月、各小中学校にマニュアル作成を依頼し、養護教諭や学校栄養士等の御尽力により、「食物アレルギー対応マニュアル」を作成しました。

その後、アレルギー病態は年々複雑かつ多様化し、食物アレルギーを有する児童生徒も増加傾向にあることから、『統一的な方針策定が必要』ととらえ、平成30年に「入間市学校食物アレルギー対応検討会議」を設け、国のガイドラインや県のマニュアルを参考にし、「入間市学校食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、今日に至っています。

この度、県のマニュアルの令和2年度改訂に伴い、本市では「入間市学校食物アレルギー対応マニュアル【2訂】」を作成しました。

入間市教育委員会といたしましては、今回改訂したマニュアルを関係する皆様に御活用いただくとともに保護者の皆様に迅速かつ正確に周知し、安心安全でおいしい学校給食を提供することを基本に、「元気な子どもが育つまち いるま」をめざしてまいります。

終わりに、本マニュアルの改訂にあたり、御尽力いただきました検討会議委員の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、関係者の皆様に今後の御尽力をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

令和3年12月

入間市教育委員会教育長 中田 一平